

楽々Excel連携ツール
V2.4
使い方

2020/7/1

NCSサポート&サービス株式会社

目次

1. 事前におこなうこと	3
2. メニュー画面の表示	3
3. 接続パラメータの設定	3
4. 「一覧生成」の操作法	5
(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得と編集	5
(2) 連携帳票シートの生成と編集	6
(3) 連携帳票シートの切り出し(一覧)	7
(4) 連携帳票シートの利用(一覧)	7
(5) 補足事項	7
5. 「単票生成(フリー)」の操作法	9
(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得	9
(2) 連携帳票シートのフォーマット作成(業務シートのコピー等)	9
(3) 連携帳票シートの項目設定	9
(4) 連携帳票シートの項目設定完了	11
(5) 連携帳票シートの切り出し(単票)	11
(6) 連携帳票シートの利用(単票)	11
(7) 項目設定の補足	12
6. 「単票生成(定型)」の操作法	15
(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得と編集	15
(2) 連携帳票シートの生成と編集	15
(3) 連携帳票シートの利用(単票)	16

※ このドキュメントは、Excel連携アドイン Ver 2.4 以降に対応しています。

楽々Excel連携ツール(V2.4) 使い方


このツールは、Excel連携アドインを使って、kintoneのクラウドアプリと連携してデータの取得、登録／更新のできるExcelシートを簡単に作成できるツールです。簡単な操作で、Excel連携の設定シートを作成することができ、定型的な一覧表や、単票のフォーマットで対象Excelシートを生成できます。(設定シートそのものは誤操作を避けるため非表示としています)作成した対象Excelシートは、サイズや体裁、見出しなどを整えて、そのまま業務に利用できます。※「Excel連携アドインV2.4導入・評価手順書」もあわせてご覧ください。

1. 事前におこなうこと

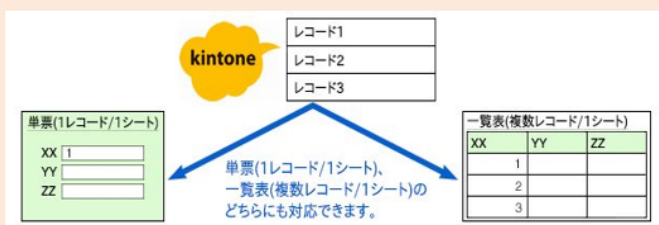
- ①まずkintoneとスタンダードコースで契約し(試用でも可)、kintoneアプリを作成してください。作成したアプリのURL、ログイン名、パスワードが必要となります。
- ②Excel連携アドインを入手し(試用でも可)、PCにインストールしてください。ライセンスキーが必要となります。※標準のインストール先でない場合、本ツールの参照設定の変更が必要です。参照設定の変更方法は「導入評価手順書」をご覧ください。

2. メニュー画面の表示

本ツールのメニュー画面です。一覧表を作るか、単票を作るかを決め、どちらかのボタンを押下します。V2.4から、単票は自由に項目レイアウトを定めることのできる「フリー」と、何もしなくても自動的に定型レイアウトを作成する「定型」のどちらかを選ぶことができます。



楽々Excel連携ツール(連携帳票作成機能) Ver.2.4



- ・ kintoneと連携して、データ検索、更新が可能なExcelの連携帳票が簡単に作成できます。
- ・ レコードを一覧表で表示する「一覧表」形式と、1レコード／1帳票の「単票」形式のどちらも作成できます。
- ・ 「単票」形式では、既存のExcel帳票を、レイアウトをそのままにkintoneの項目と連携させることができます。
- ・ 完成したExcel連携シートは、必要なシートだけを別ブックに切出すことができます。
- ・ 単票作成の「フリー」は自由なフォーマットでレイアウトができます。「定型」はレイアウトを自動生成します。

一覧作成

単票作成

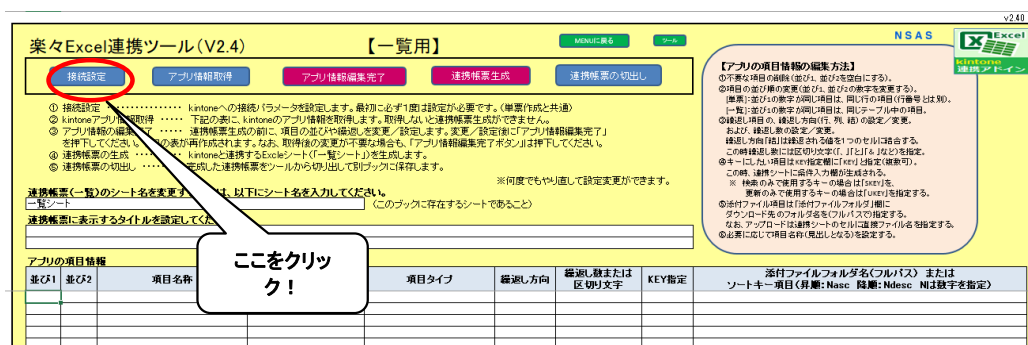
フリー

定型

3. 接続パラメータの設定

連携するkintoneとの接続パラメータを設定します。一度設定して保存すれば、アプリやユーザを変更しない限り、再設定は不要です。また、一覧作成、単票作成とも、同じ接続パラメータが使用されます。

接続パラメータは、一覧作成または単票作成の画面の上部にある「接続設定」ボタンで設定します。(一覧用、単票用のどちらで設定してもかまいません。設定は共有されます)



楽々Excel連携ツール (V2.4) 【一覧用】

接続設定 | アプリ情報取得 | アプリ情報編集完了 | 連携帳票生成 | 連携帳票の切出し

①接続設定 kintoneへの接続(ラマータ)を設定します。最初必ず1回は設定が必要です。(単票作成と共通)

②kintoneアプリ情報取得 下記の表に、kintoneのアプリ情報を取得します。取得しないと連携帳票生成ができません。

③アプリ情報編集 連携帳票生成の前に、項目の並びや結合、変更/設定を行います。変更/設定後は「アプリ情報編集完了」を押下してください。

④連携帳票の生成 kintoneと連携するExcelシート(一覧シート)を生成します。

⑤連携帳票の切出し 作成した連携帳票をツールから切り出して別ブックに保存します。

※何度でもやり直して設定変更ができます。

連携帳票(一覧)のシート名を変更する 以下にシート名を入力してください。(このブックに存在するシートであること)

連携帳票に表示するタイトルを設定してください

アプリの項目情報

並び1	並び2	項目名称	項目タイプ	参照し、数または区切り文字	KEY指定	添付ファイルフォルダ名(フルパス) または ソートキー(昇順: Nasc 降順: Ndesc NIは数字を指定)

ここをクリック!

【アプリの項目情報の編集方法】

- ①不要な項目の削除(並び1、並び2を空白にする)。
- ②項目の並び順の変更(並び1、並び2の数字を変更する)。
- ③検索に並びの数字が同じ項目は、同じ行の項目(行番号とは別)。
- ④検索に項目の、繰返し方向(行、列、結合)の設定/変更。
- ⑤検索に項目の、繰返し方向(行、列、結合)の設定/変更。
- ⑥検索に項目の、繰返し方向(行、列、結合)の設定/変更。
- ⑦検索に項目の、繰返し方向(行、列、結合)の設定/変更。
- ⑧検索に項目の、繰返し方向(行、列、結合)の設定/変更。
- ⑨検索に項目の、繰返し方向(行、列、結合)の設定/変更。
- ⑩検索に項目の、繰返し方向(行、列、結合)の設定/変更。

接続情報設定シートが開くので、アプリケーションIDとサブドメイン、ログインユーザ名、パスワード、連携アドインのライセンスキーを入力し、「次へ」ボタンを押します。

接続情報設定

1.連携するkintoneのアプリケーションIDと、サブドメイン名を設定します。(必須)

アプリケーションID

サブドメイン (例: xxx.cybozu.com)

※上のBOXに手入力するか、Internet Explorerでkintoneアプリを表示させ、「IEより取得」ボタンで取得して下さい。

※ ゲストスペースのアプリの場合は、サブドメインの最後に「#スペースID」を追加して下さい。

2.kintoneに接続するユーザIDとパスワードを設定します。(任意)
(設定しない場合は、毎回起動時に入力が必要となります)

ユーザID

パスワード

3.kintone接続にBASIC認証を利用する場合は、そのユーザIDとパスワードを設定します。(任意)
※BASIC認証が必要だが、設定せずに毎回入力させたい場合は、下記のユーザID、パスワードは空白のままとし、毎回入力に「YES」を選択して下さい。

ユーザID

パスワード

毎回入力

4.Excel連携アドインのライセンスキーを設定します。(必須)

ライセンスキー

5.一度に1万件以上のデータを取得する可能性のある場合は「YES」を選択して下さい。(任意)

カーソルAPIの使用 (1万件以上のデータを一度に取得する場合、カーソルAPIの使用が必要です)

NO

6.高度な検索条件を設定できる自由検索モードを使用する場合は「YES」を選択して下さい。(任意)

自由検索の使用 (現在は一覧作成でのみ使用可能です)

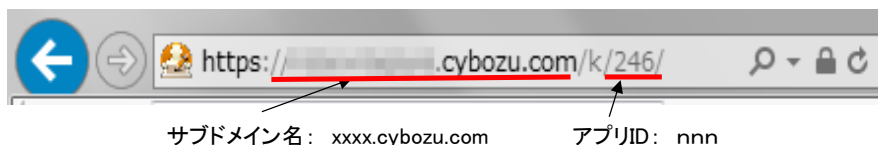
NO

自由検索では、複数のフィールドに関わる複雑な条件をkintoneの論理式で指定することができます。
条件式は、「フィールドコード 演算子 値」の形式で記述し、() and or で論理式として組み合わせられます。
演算子には以下のものが使用できます。(詳しくはアドインマニュアルの「検索条件自由設定」をご覧ください)
「=」イコール、「≠」ノットイコール、「>」大なり、「<」小なり、「>=」以上、「<=」以下、「in」選択肢の一致
値は"" (ダブルコーテーション) でくくあり、日付はkintoneの形式 (yyyy-mm-dd) で記述する必要があります。
詳しい仕様はkintoneのWEBサイトにあるAPIのマニュアルを参照ください。

7.設定が完了したら、次へボタンを押して下さい。

次へ

※ アプリケーションIDとサブドメインは、対象とするkintoneアプリを Internet Explorer で表示しておけば、「IEより取得」ボタンで自動的に取得可能です。そうでない場合はアプリのURLより手入力してください。



※ ログインユーザ名、パスワードは省略できます。省略した場合は、Excel連携を起動するたびに、ログイン画面が表示されて、毎回入力する必要があります。

※ 2020年7月以後、kintoneの仕様変更により、一度に1万件以上のデータを取得する場合、従来のAPIでは利用できなくなり、カーソルAPIを使用することが必須となりました。
kintoneのデータを一度に1万件以上取得する可能性がある場合は、事前に設定する必要があります。
「5. 一度に1万件以上のデータを取得する可能性のある場合は「YES」を選択して下さい」の項目で、「YES」を選択して下さい。

ここが空白または「NO」の場合、1万件より少ないデータが取得される場合は何も問題ありませんが、1万件を超える場合には、エラーとなります。

検索結果のデータが1万件を超える可能性のない場合は、空白または「NO」でかまいません。
「YES」にした場合、同じドメインで同時実行できるExcel連携の数が10個以下となる制限があります。
大量データを取得する必要がある場合だけ、「YES」で設定してください。

※ 「自由検索の使用」を「YES」にすると、標準機能では使用できない、複数の項目が関連するような複雑な検索条件が一覧用のシートで利用できるようになります。
ただしkintoneの検索条件式をそのまま記述していただくこととなりますので、その記載方法の知識が必要となります。(楽々ツールでは記述内容のチェックはしません)
詳しくは4. 「一覧生成」の操作法の(5)補足事項をご覧ください。

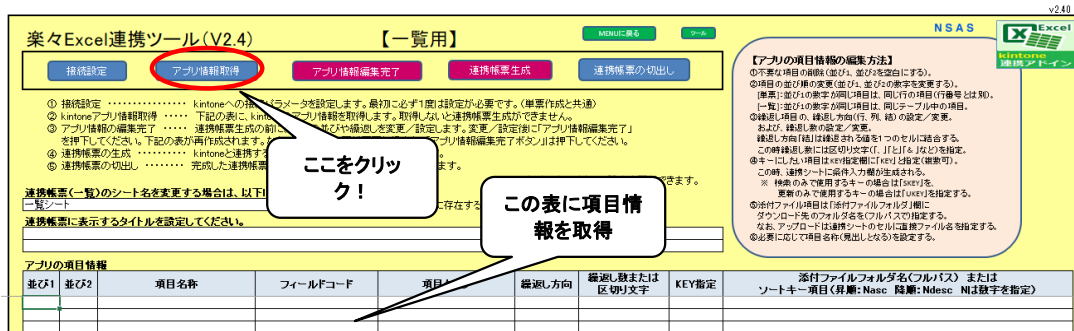
※ 一度設定したログインユーザ名、パスワードを変更する場合は、いったんExcelを終了し、再起動してから接続設定してください。起動したまま変更すると、メモリー上に残っており反映されません。

4. 「一覧生成」の操作法

接続設定が終われば、「一覧生成」「単票生成」で、アプリ情報を取得し、連携帳票を生成できます。
以下、「一覧生成」の操作法を説明します。

(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得と編集

①作成シートの「アプリ情報取得」ボタンを押下します。



②各項目の名称、フィールドコード、項目タイプ、繰返しの設定、KEY指定、その他が初期設定されます。

③「並び1」「並び2」を修正して、不要な項目を削除したり順番を変更します。(必要であれば)

- ・不要な項目は「並び1」「並び2」を空白にします。
- ・項目の順番は「並び1」の番号を修正します。小さい番号から順に並び替えられます。番号は連番でなくてもよく、途中が飛んでいてもかまいません。
- 「並び2」は同じ「並び1」の中で、テーブル内の項目や同じ行内の項目の並び順を示します。

(例)

- ・工場名は不要。
- ・部員テーブル中の社員コードは不要。
- ・部門名を先にし、部門コードを後に。

並び1	並び2	項目名称
1		部門コード
2		部門名
3		工場名
4		部員テーブル
4	1	社員コード
4	2	社員名



並び1	並び2	項目名称
2		部門コード
1		部門名
		工場名
4		部員テーブル
		社員コード
4	2	社員名

この場合、右のように修正する。

④繰返し項目の繰返し方向と繰返し数を決めます。

チェックボックスや複数選択、テーブルや添付ファイルは繰返し項目です。
繰返し数の初期値は1となっています。つまり複数あっても1つだけが取得される設定です。
これを実際のデータに合わせて、適当な数字に修正します。
例えば「列」「3」では、列方向に3つのセルを確保して、そこに最大3件までのデータが入ります。
「行」「5」では、行方向に5行確保し、そこに最大5件までのデータが入ります。
指定した数字より実際のデータが多い場合は、指定した件数だけが入り、それ以上のデータはあっても無視されます。逆に少ない場合は、空白が入ります。

項目名称	繰返し方向	繰返し数または区切り文字
社員テーブル	列	3
社員コード		
社員名		

この数字を、必要な列または行の数に修正します。繰返し方向の指定により、連携対象シートにそれだけの列／行が確保さ

連携シートではこうなる

社員テーブル(1)		社員テーブル(2)		社員テーブル(3)	
社員コード	社員名	社員コード	社員名	社員コード	社員名

テーブルの中にさらに繰返しがある場合

項目名称	繰返し方向	繰返し数または区切り文字
家族構成	列	2
名前		
趣味	列	2



家族構成(1)			家族構成(2)		
名前	趣味(1)	趣味(2)	名前	趣味(1)	趣味(2)

⑤登録／更新を行う場合は、レコードをユニークに識別できる項目の「キー項目」の列に「KEY」と入力してください。1項目だけでは絞り込めない場合、1つに絞り込めるように複数の項目をKEYとしてください。

他に適当な項目がない場合は、レコード番号の項目をKEYとしてください。

KEYと指定した項目は、データ取得においても、絞り込みのための条件項目として利用されます。

※ 検索のみで使い、登録／更新の識別には使わないキー項目の場合は「SKEY」と、登録／更新のみで使い、検索条件にはしないキー項目の場合は「UKEY」と指定することが可能です。

項目名称	KEY指定
役職	KEY
所属	KEY
氏名	KEY

その値(複数の組み合わせでも可)によってレコードを1つに絞り込める項目に「KEY」と指定し

- ⑥添付ファイルをダウンロード／アップロードする場合は、フォルダ名を指定してください。
フォルダ名は、C:\aaaa\bbbb のようにドライブ名から指定して下さい。(初期値はC:\tempとなっています)

項目名称	添付ファイルフォルダ名(フルパス) または シートキー項目(昇順:Nasc 降順:Ndesc Nは数字を指定)
添付ファイル	C:\temp

- ⑦項目名称の欄が空白の場合は適当な名称を入力します(対象シートの項目見出しとなります)。
- ⑧作成シートの「連携シートに表示するタイトルを設定してください」の欄に、対象シートの表題となる見出しを入力します。(2行まで可)
- ⑨修正完了後「**アプリ情報編集完了**」ボタンを押下して修正を反映させます。(忘れないでください！)
並び順を変更したり、項目を削除対象にした場合、このボタン押下で画面上にも変更が反映されます。

(2) 連携帳票シートの生成と編集

- ①連携シート生成ボタンを押します。

- ②「一覧シート」という名前のシートに、設定シートの内容にもとづいたレイアウトの帳票が生成されます。
すでにシートが存在する場合は、その内容は削除されて上書きされるので、ご注意ください。
- ③生成された帳票の見出しや、書式、セルのサイズ、色や罫線は自由に変更してもかまいません。
ただし、セル位置は設定シートと連動しているため、変更しないでください。
また「RECORD.NUMBER」の項目は非表示にしてもかまいませんが、削除しないでください。
- ④データ取得時の絞り込み条件の入力エリアが、KEY項目の数だけ、順番に設定されています。
不要であれば、セルを削除して空白にしてください。
- ⑤実行ボタンは任意の場所に移動してもかまいません。色や文言も変更可能です。
検索のみに利用される場合は、誤操作を防ぐため「登録／更新」ボタンは削除してください。

【生成される連携対象シートの一般的なフォーマット】

社員マスター														
データ取得		所属コード	社員番号	KEY指定した項目が絞り込み条件入力用に設定されます。										
登録／更新		絞り込み条件:												
所属コード	所属	社員番号	氏名	入社年月日	業務スキル	得意先(1)	得意先(2)	得意先(3)	レコード番号	リビジョン				
					(1) (2) (3)	名称 (1) (2)	名称 (1) (2)	名称 (1) (2)	(1) (2)	No.				

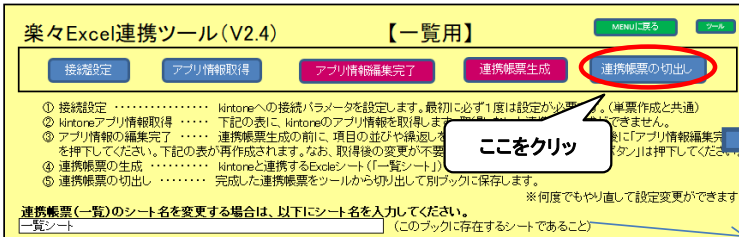
単独項目(繰返しなし)は定義順に設定されます。

繰返し項目(CHECK_BOX、MULTI_SELECTなどは、項目名称の下に繰返し数だけ、(1)、(2)のように設定されます。

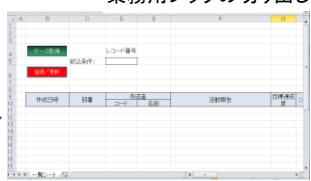
テーブル(SUBTABLE)は、テーブルの項目名称が名称(1)、名称(2)のように繰り返され、その下に、テーブル内の項目が設定されます。
テーブル内にさらに繰返し項目がある場合は、その繰返し数だけ、項目名の下に(1)、(2)のように続いて設定されます。

(3) 連携帳票シートの切り出し(一覧)

生成した連携対象シートは、楽々ツールから切り出して、業務用のExcelブックを作成することができます。
切出されたブック名は連携シート(一覧)の名前と同じになり、楽々ツールと同じフォルダへ出力されます。



業務用ブックの切り出し



ブック名はシート名と同じになります。

(4) 連携帳票シートの利用(一覧)

- ①「データ取得」ボタンでデータのダウンロードができます。
入力された絞り込み条件に合致するデータがkintone側からダウンロードされます。
このとき、シート上のデータはすべて消去されて置き換わりますので注意してください。
絞り込み条件に入力していない(空白)の場合、その条件は無視されます。





【絞り込み条件の補足】

- ・複数の絞り込み条件を入力すると、そのAND条件で検索されます。
- ・値を1つ入力すると、その値に一致するデータが検索されます。
- ・値を半角カンマで区切って複数入力すると、OR条件となり、そのいずれかに一致するデータが検索されます。
- ・値の前に全角ノットイコール「≠」をつけると、NOT検索となり、その値に一致しないデータが検索されます。
- ・値の前に全角ニアリイコール「≒」をつけると、LIKE検索となり、文字列にその値を含むデータが検索されます。
- ・値に全角「～」を付加すると、以上、以下の検索ができます。「～A」はA以下、「A～」はA以上、「A～B」はA以上かつB以下を示します。

- ②「登録／更新」ボタンでデータのアップロードができます。
KEY項目の内容により、すでにkintone側に存在すれば更新され、存在しなければ新規登録されます。

このボタンで、検索し、データダウンロードを実行

このボタンで、データアップロードし、登録／更新を実行

作成日時	部署	作成者	活動報告	目標達成度	ジャンル	タイトル	アイデア	添付ファイル	レコード番号	リビジョンNo
2011/09/14 16:35	開発	Administrator	Administrator	達成	IT一般	APIサンプリングアプリケーション	こちらのページにAPIについていると記述がていねいでした。なかなか参考になるかと思います。 https://○○○～	(1)  (2)  (3) 	2	13
2011/09/14 16:34	開発	Administrator	Administrator	達成	その他	プレゼンに関する本を購入しました。 現時点で読める割には、内容の濃いものになっていました。			1	12

※ 表の罫線は見やすさのため検索後に追加したものです。

(5) 補足事項

- ①レコード番号とリビジョンNoについて
楽々ツールで生成されたシートにはレコード番号とリビジョンNoの項目が自動で設定されています。
これらは、データの更新を行う場合に必要となります。
データ取得だけを行うのであれば、不要なので削除してもかまいません。

データの更新時には、どちらも必要になります。
レコード番号は、レコードが登録されると、その1件1件を識別するためにkintoneで自動的にふられる、1つ1つ異なる固有の番号です。
この番号が同じものがあれば、既存データの更新となり、なければ新規データの登録となります。
※ レコード固有の番号なので、この項目をKEYとして指定すれば、確実に更新ができます。
リビジョンNoは、レコードが更新されるたびにkintoneがつける、更新のたびに増加する番号で、データ取得してから更新実行までに、他から更新されて内容が変わっていないかのチェックに使われます。
更新時にすでに他で更新され、リビジョンが上がっていた時はエラーとなりますので、再度データを取得してからやり直してください。
- ②ファイルのダウンロードについて
楽々ツールでダウンロードするファイル名はkintone上のファイル名と同じになり、フォルダは指定したダウンロードフォルダとなります。
このため、kintone上で同じファイル名であれば、同一ファイルとして上書きされるので、ご注意ください。

③「自由検索」について

「接続設定」で「自由検索の使用」を「YES」にした場合、一覧生成でKEY項目に指定した項目は無視され一覧データの取得時に、フリーフォーマットで複雑な検索条件を指定できるようになります。

この場合、データ取得時には検索条件式が有効となり、一覧生成の「キー指定」「キー値」の設定は無視されます。設定した内容は楽々ツールではチェックされずにkintoneに渡されますので、誤った記述をするとエラーとなります。条件の記載方法は項目タイプによって異なります。詳しくはkintoneのWEBサイトにあるAPIの説明を参照ください。下記に主なものを示します。

- ・基本的な書き方：「フィールドコード 演算子 値」
フィールドコードは、演算子の前に記述します。演算子の後には記述できません。
- ・数値以外の値はダブルコーテーション(“)で囲む必要があります。
- ・式を「()」でグループ化できます。
例 (数値_0 >= 10 and 数値_1 <= 20) or (数値_1 >= 100 and 数値_1 <= 200)
- ・日付はkintoneの書式で指定する必要があります。(2015/10/30 ではなく 2015-10-30 とする)
例 営業日 >= "2015-04-01" and 営業日 <= "2015-04-30"

演算子	例	意味
=	文字列_0 = "テスト"	フィールドコードの値と演算子の後に指定した値が一致
!=	文字列_0 != "テスト"	フィールドコードの値と演算子の後に指定した値が異なる
>	数値_0 > 10	フィールドコードの値が、演算子の後に指定した値より大きい
<	数値_0 < 10	フィールドコードの値が、演算子の後に指定した値より小さい
>=	数値_0 >= 10	フィールドコードの値が、演算子の後に指定した値以上
<=	数値_0 <= 10	フィールドコードの値が、演算子の後に指定した値以下
in	ドロップダウン_0 in ("A", "B")	フィールドコードの値が、演算子の後の括弧内に列挙した文字列のいずれかと一致するレコードが抽出されます。 ドロップダウンやラジオボタンなどの選択式のフィールドで指定した選択肢が選択されたレコードを抽出する場合に使います。 左の例では、ドロップダウンリストで「A」か「B」が選択されているレコードが抽出されます。
not in	ドロップダウン_0 not in ("A", "B")	フィールドコードの値が、演算子の後の括弧内に列挙した文字列といずれも一致しないレコードが抽出されます。
like	文字列_0 like "テスト"	フィールドコードの値が、演算子の後に指定した値を含む
not like	文字列_0 not like "テスト"	フィールドコードの値が、演算子の後に指定した値を含まない
or	数値_0 < 10 or 数値_0 > 20	2つの条件式の論理和
and	数値_0 >= 10 and 数値_0 <= 20	2つの条件式の論理積

5.「単票生成(フリー)」の操作法

「単票生成(フリー)」では、固定的なフォーマットでなく、実際の業務のExcelシートを対象シートとしてkintoneアプリの項目と連携することができます。

(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得

①最初に、作成シートの「アプリ情報取得」ボタンを押下します。

楽々Excel連携ツール (V2.4) 【単票用】 (フリー)

接続設定 アプリ情報取得 連携帳票項目設定 連携帳票設定完了 連携帳票の切出し

① 接続設定 kintoneへの接続パラメータを設定します。最初に必ず1度は設定が必要です。(一覧作成と共通)

② kintoneアプリ情報取得 kintoneのアプリ情報を取得します。取得しない場合は連携帳票生成ができません。なお、このボタンを押すと、連携帳票設定の情報はクリアされ、最初からやり直すことができます。

③ 連携帳票項目設定 連携帳票とするシートをこのツールから選択してください。あるいは、あらかじめシートを連携追加していただけます。(1レコード/1シートの単票形式として下さい)

④ シート連携 シート連携項目を設定します。単票生成で使用するシートを選択してください。

⑤ 連携帳票設定完了 全ての項目設定が完了したため、連携帳票の生成を行います。必要に応じて、連携帳票の出力先を指定してください。

⑥ 連携帳票の切出し 完成した連携帳票をシート(非表示)に出力します。

連携帳票(単票)のシート名を変更する場合は、以下にシート名を入力してください。(このブックに存在するシートであること)

連携帳票(単票)のシート名を入力してください。

【アプリの項目情報の取得方法】
※ 連携帳票ではマスタと連携を対応させるため、連携できるのは以下のとおりです。
① 連携キーにしたい項目は必ず「ID」(必須)と指定してください。
② 連携キーにしたい項目は必ず「ID」(必須)と指定してください。
③ 連携キーにしたい項目は必ず「ID」(必須)と指定してください。
④ 連携キーにしたい項目は必ず「ID」(必須)と指定してください。
⑤ 連携キーにしたい項目は必ず「ID」(必須)と指定してください。

Microsoft Excel
アプリ情報の設定が完了しました。
OK

②アプリの各項目の名称、フィールドコード、項目タイプなどの情報を取得されます。

正常に情報取得できれば、右のダイアログが表示されます。

※ 単票生成の場合、この時点では項目情報の表は空白のままです。

(2) 連携帳票シートのフォーマット作成(業務シートのコピー等)

①楽々ツールに、kintoneと連携させたい業務のシートをコピーします。あるいは、白紙のシートに新規にフォーマットを作成してもかまいません。

②作成したシートのシート名を、「連携帳票のシート名(単票)」の欄に入力しておきます。

日報 日々の活動報告

作成日時 部署 作成者名 日報達成度

活動報告

添付ファイル

日々の活動の中で、得たノウハウ・アイデアを投稿して下さい！

ジャンル
タイトル

アイデア

連携帳票(単票)のシート名を変更する場合は、以下にシート名を入力してください。
日報シート

アプリの項目情報

開始 行	開始 列	終了 行	終了 列	レベル	項目名称	フィールドコード
---------	---------	---------	---------	-----	------	----------

(3) 連携帳票シートの項目設定

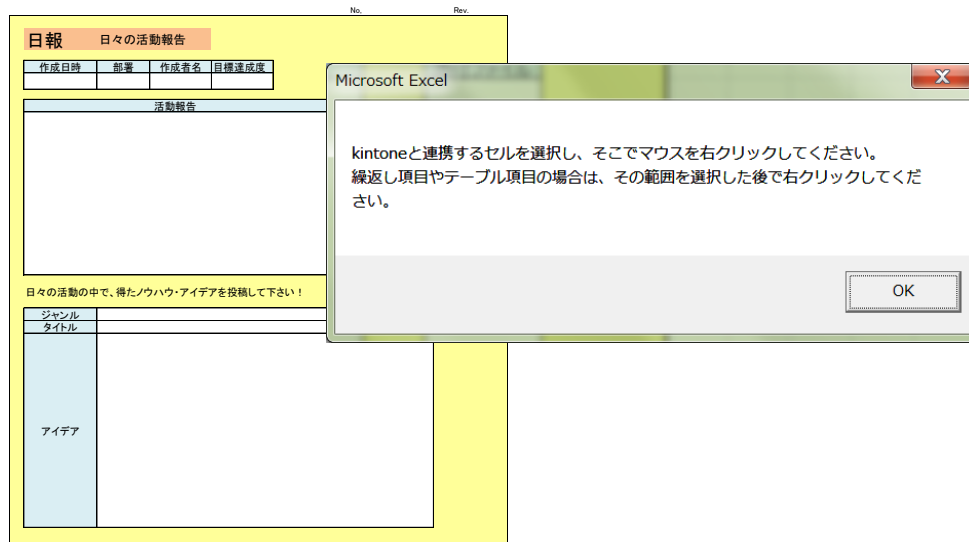
①「連携帳票項目設定」のボタンをクリックします。

ここをクリック

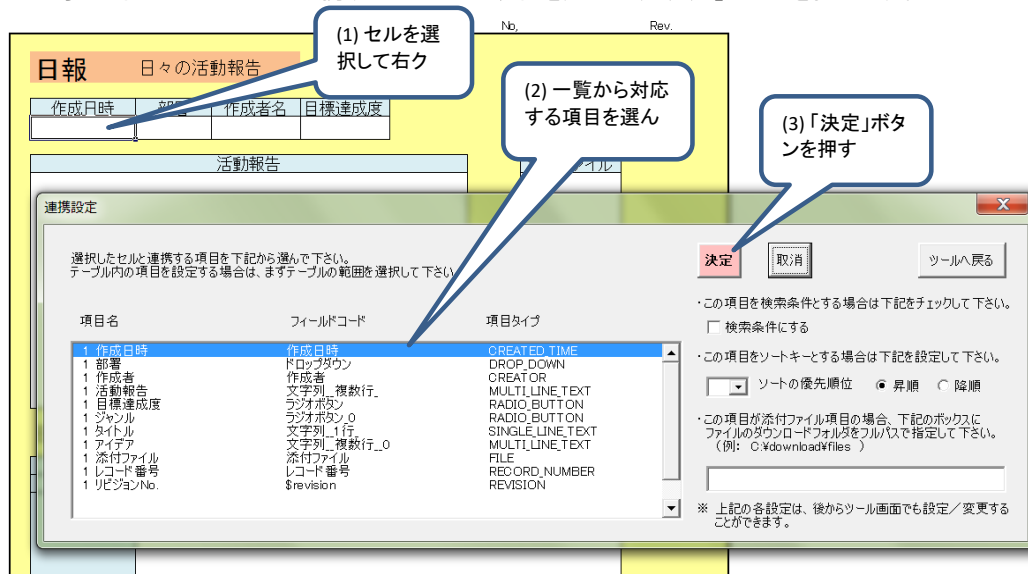
楽々Excel連携ツール (V2.4) 【単票用】 (フリー)

接続設定 アプリ情報取得 連携帳票項目設定 連携帳票設定完了 連携帳票の切出し

②連携帳票シートが表示され、ダイアログが表示されます。



③シート上のセルを選択し、マウスで右クリックをすると、連携設定のダイアログが表示されます。一覧の中からこのセルと連携するkintoneの項目を選んで、「決定」ボタンを押します。



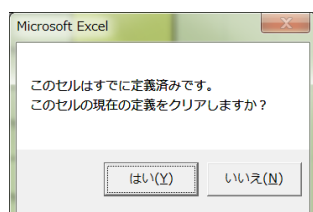
④これを繰返し、最後に「ツールへ戻る」ボタンを押すと「単票生成」画面に戻ります。

※ いったん「単票生成」画面に戻っても、「連携帳票設定完了」を押す前であれば、「連携帳票項目設定」ボタンを押すことで、項目設定を続けることができます。

※ 間違ったセルで右クリックした時は、「取消」ボタンでダイアログを消してやり直せます。

※ 設定済みのセルには、kintoneのフィールドコードが表示されます。

※ 設定済みのセルを右クリックした時は、定義済みのダイアログが表示されます。



「はい」をクリックすると、そのセルの設定が取り消され、あらためてそのセルの設定をやり直すことができます。

「いいえ」をクリックした時は、セルの設定は変更されません。

(4) 連携帳票シートの項目設定完了

- ①全ての項目を設定完了したら、「連携帳票設定完了」ボタンを押下します。

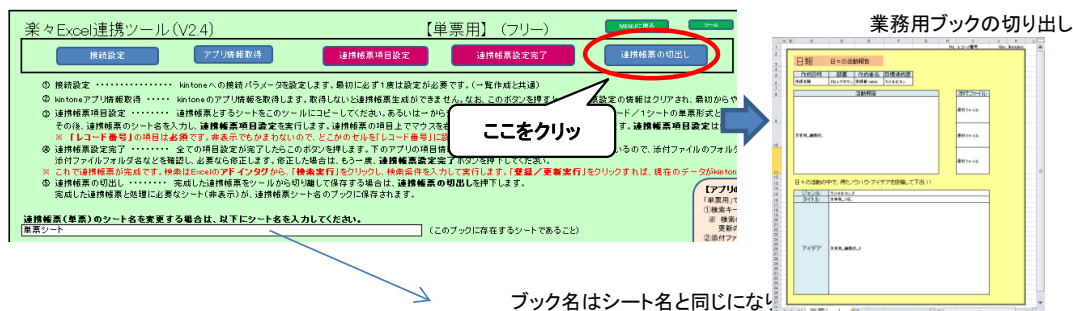


- ※ マウス右クリックで項目設定を行うたびに、単票生成の項目情報の表には、設定した項目が追加されています。

- ②完了のダイアログが表示され、以後、連携シートはkintoneと連携して検索・更新ができるようになります。
- ③帳票のレイアウト変更など、設定を最初からやり直す場合は、「アプリ情報取得」から再実行してください。

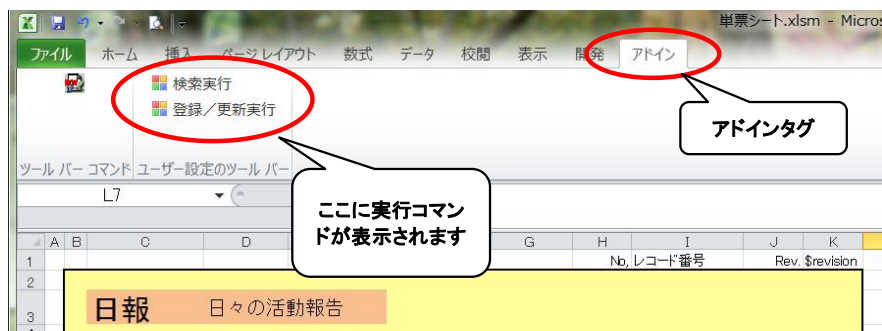
(5) 連携帳票シートの切り出し(単票)

生成した連携対象シートは、楽々ツールから切り出して、業務用のExcelブックを作成することができます。切出されたブック名は連携シート(単票)の名前と同じになり、楽々ツールと同じフォルダへ出力されます。



(6) 連携帳票シートの利用(単票)

単票の連携シートは、Excelブックの「アドイン」タグを選択し、ツールバーの「検索実行」「登録/更新実行」のコマンドをクリックすることで、kintoneデータのダウンロードやアップロードができます。



①検索の実行

ツールバーの「検索実行」コマンドをクリックすると、下記の検索ダイアログが表示されます。

項目設定で「検索条件にする」をチェックした項目が、検索条件として表示されます。検索条件の指定規則については、一覧と同じです。「連携対象Excelシートの利用（一覧）」の①を参照してください。

ダイアログの「検索実行」ボタンを押下すると、検索が実行され、検索条件に一致するkintoneのデータが、連携シートに取得されます。

検索条件に合致するデータが複数ある場合は、「次へ」「前へ」ボタンで、1件ずつ送っていくことができます。この時のデータの順番は、項目設定で「ソートの優先順位」として指定した内容に従います。

この「次へ」「前へ」で1件ずつデータをデータを選択できます。

「完了」ボタンを押すと、ダイアログが消去されます。

※「完了」ボタンを押すまでダイアログは消去されません。画面の裏に隠れている場合があるので、注意してください。

※データが見つからない場合は、「0件のデータが検索されました」と表示されます。

②登録／更新の実行

ダイアログの「登録／更新実行」コマンドでデータのアップロードができます。KEY項目の内容により検索され、すでにkintone側に存在すれば更新、存在しなければ新規登録されます。

※ 登録／更新を行うには、シートに「レコード番号」と「リビジョンNo.」の項目が必要です。

(7) 項目設定の補足

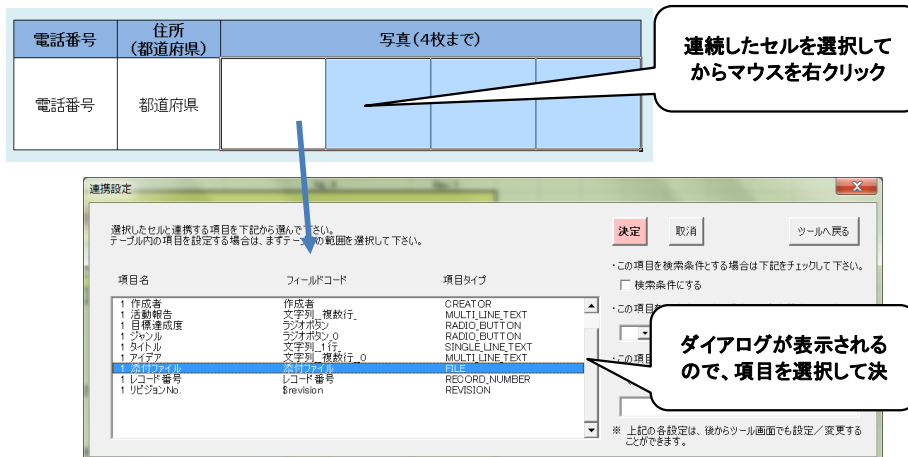
項目のタイプによって、マウスで項目設定する際にはいくつかの注意事項があります。

項目種別	kintoneアプリのタイプ (詳しくはアドインマニュアル別紙を参照のこと)	結合セル への設定	連続した複数 セルへの設定	検索条件 の設定	ソートキー の設定
単独項目(テーブル外)	SINGLE_LINE_TEXT、NUMBERなど	○	×	○	○
単独項目(テーブル内)	同上	×	×	○	×
作成者・更新者	CREATOR、MODIFIER	×	×	×	×
繰り返し項目	CHECK_BOX、MULTI_SELECT	×	○	○	×
添付ファイル	FILE	×	○	×	×
ユーザ選択項目	USER_SELECT、GROUP_SELECTなど	×	○	×	×
サブテーブル	SUBTABLE	×	○	×	×

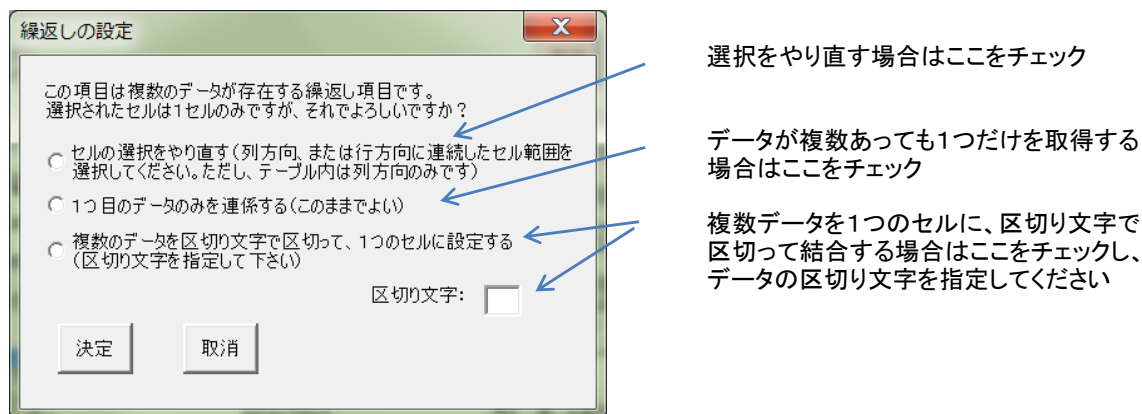
① 繰返し項目の設定

チェックボックス、複数選択、添付ファイルなど、1つの項目に複数のデータが存在しうる項目では、マウスで縦または横に連続したセルを選択してから、右クリックしてダイアログを表示させます。

- ※ 複数データがあっても最初の1つだけを取得する場合は、1セルのみの選択でかまいません。
- ※ 登録・更新では、選択したセルの数が、その項目に登録できるデータの最大数になるので、注意が必要です。



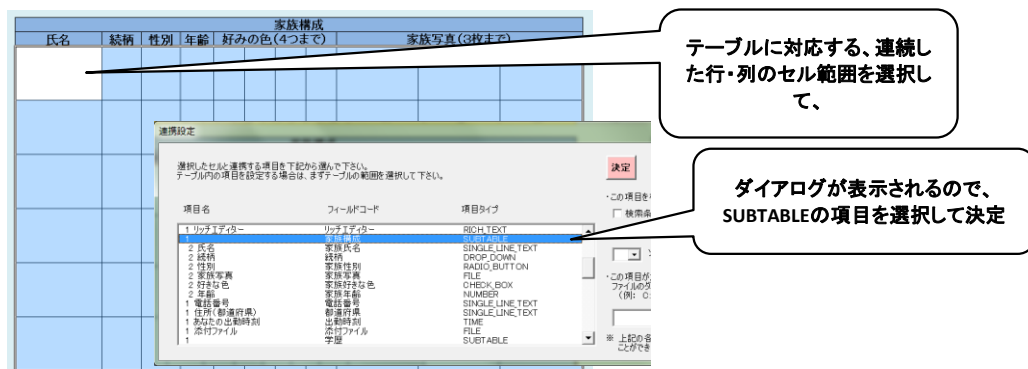
- ※ 添付ファイル以外の繰返し項目では、1つのセルだけを選んだ場合でも、複数データをそのセル内に結合して取得することができます。
- 繰返し項目で1つのセルだけを選んだ場合は、以下のダイアログが表示されます。



② テーブルの設定

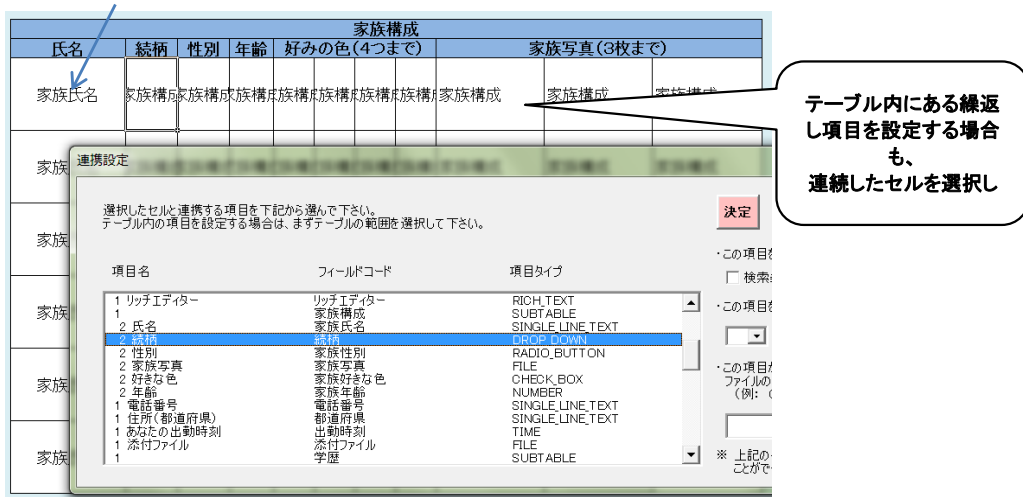
テーブル (SUBTABLE) を設定する場合は、まずそのテーブルのデータを取得するセル範囲を選択し、右クリックして、ダイアログで SUBTABLE 項目を設定します。

次に、そのテーブルの1行目にあたる行で、テーブル内の項目を選択していきます。



- ※ SUBTABLEの項目で設定すると、選択した領域がテーブル用に確保されます。
- ※ そのまま続けて、テーブル内に属する項目 (テーブル項目の下にある、レベル2の項目) を設定していきます。
- ※ 途中で別の項目を設定すると最初からやり直しになりますので、注意してください。

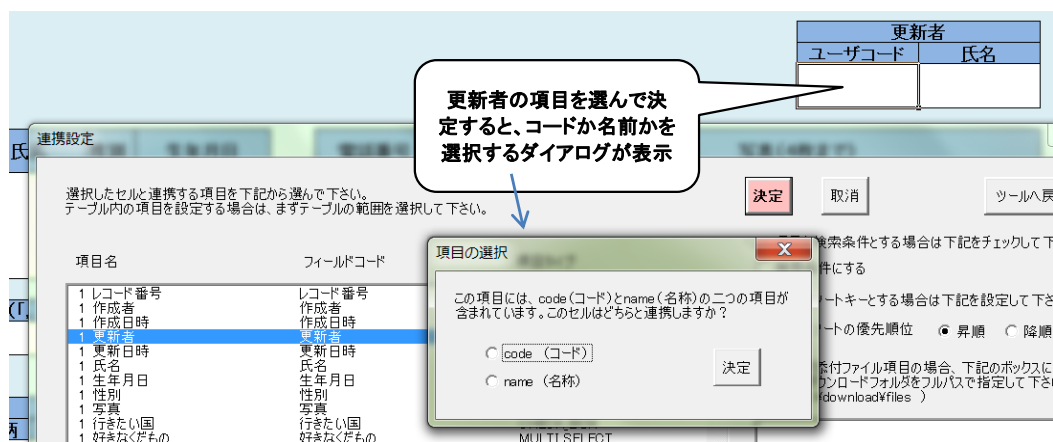
テーブル内の項目は、テーブルの1行目に設定してください。



③作成者、更新者の設定

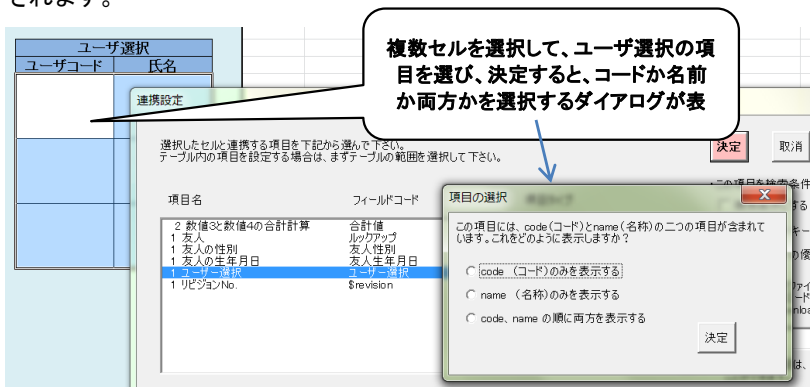
作成者 (CREATOR)、更新者 (MODIFIER) の項目には、ユーザのコード (code) と名前 (name) の二つの項目が含まれています。そこで、ダイアログでこれらの項目を選択した場合は、セルにそのどちらを取得するのか、「項目の選択」ダイアログで設定する必要があります。

(コードと名前は別々のセルに設定する必要があります)



④ユーザ選択の設定

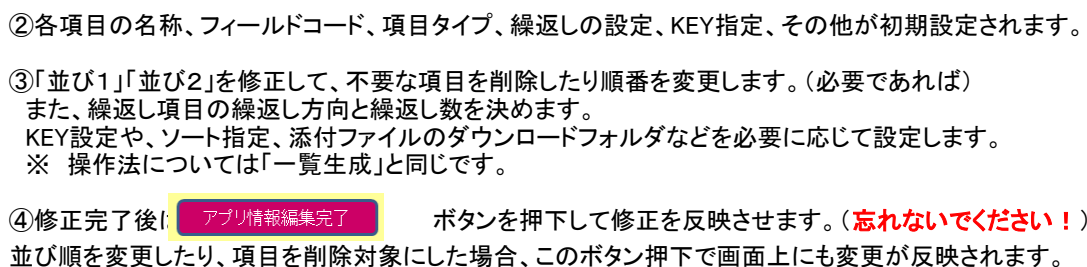
ユーザ選択 (USER SELECT)、グループ選択 (GROUP SELECT)、組織選択 (ORGANIZATION SELECT) の項目は、複数データのある繰返し項目で、さらにそのデータにコード (code) と名前 (name) が含まれています。複数セル領域を選択して右クリックし、ユーザ選択項目を選択すると、どのように設定するかダイアログが表示されます。



「単票生成(定型)」では、楽々ツールが自動的に標準的なレイアウトの単票シートを生成し、簡単にkintoneアプリの項目と連携することができます。

なお生成方法は、「一覧生成」とほぼ同じになり、生成後の利用方法は「単票生成(フリー)」とほぼ同じになります。

①作成シートの「アプリ情報取得」ボタンを押下します。



①連携シート生成ボタンを押します。



- ②生成画面に入力されている名前のシートに、生成シートの内容にもとづいたレイアウトの帳票が生成されます。すでにシートが存在する場合は、その内容は削除されて上書きされるので、ご注意ください。
- ③生成された帳票の見出しや、書式、セルのサイズ、色や罫線は自由に変更してもかまいません。ただし、セル位置は設定シートと連動しているため、変更しないでください。また「RECORD_NUMBER」の項目は非表示にしてもかまいませんが、削除しないでください。

【生成される連携対象シートの一般的なフォーマット】

社員マスター		
所属コード	所属	
社員番号	氏名	入社年月日
業務スキル		
得意先		
名称	担当者	
	(1)	(2)
レコード番号	リビジョンNo.	

単独項目（繰返しなし）は並び1、並び2の順番に、項目名称の下に表示されます。並び1が変わると、行が変わります。

繰返し項目は、行繰返しであれば、項目名称の下に、繰返し数だけ繰返して設定されます。列繰返しの場合は列方向に繰返し設定されます。

テーブル（SUBTABLE）は、テーブル名の下に、項目名称が見出しとなり、行繰返しであればその下に、テーブルの繰返し数だけ行が設定されます。

下位レベルに繰返し項目がある場合は、項目名が行見出しとなり、その繰返し数だけ、(1)、(2)のように設定されます。

(3) 連携帳票シートの利用(単票)

単票の連携シートは、Excelブックの「アドイン」タグを選択し、ツールバーの「検索実行」「登録／更新実行」のボタンをクリックすることで、kintoneデータのダウンロードやアップロードができます。

※ 単票(定型)の検索、登録／更新については、単票(フリー)と同じです。そちらを参照ください。

